

ひとつの花だより

2019年
夏号

日本栄養給食協会グループ
NPO法人 ひとつの花

私達が関わっている農業において、今年一番の出来になりましたのが「雪の妖精」という白いトウモロコシです。白いトウモロコシはこの時期では、珍しいトウモロコシです。今年は特に収穫量も多く、また糖度も高く、非常に人気ある商品になっています。直売所、道の駅、そしてパンデパルク本店の店頭で販売をしています。農業は何でも除草作業は大変ですが、その仕事がお客様に喜ばれる農作物に繋がります。今回のトウモロコシもその一つです。

その他の農業部門では、ネギ等の出荷作業、いちごの収穫、ニラの管理補助等を行い、また物流部門では農作物の計量、パソコンでのデータ入力等、色々な仕事をしています。7月6日のアピリンピックでは、利用者の速水さんがパソコンデータ入力部門で優勝しました。日頃の成果ですね。おめでとうございます。

私達の地道な仕事が、多くの人々に喜びを与えています。これからも楽しく仕事をしていきたいと思いを。

NPO法人 ひとつの花
理事長 橋本正行



農福連携 イチゴの収穫作業

県の取り組みである食品企業×イチゴの生産団体×障がい者福祉施設のマッチング「農福連携」の福の部門として、加工用イチゴの収穫作業を行いました。また、この取り組みが「下野新聞」と「NHKとちぎ640」で取り上げられました。



障害者就労、商品化も促進
県、企業と「農福連携」橋渡し

県は、食品企業とイチゴの生産団体、障害者福祉施設3者のマッチングに乗り出した。障害者が農業や漁業に関わる「農福連携」の取り組みで、宇都宮市内の食品メーカーと農業生産法人、福祉施設を運営するNPO法人などを結び、5月中旬から試験的にイチゴの収穫や買い取りなどで連携を進めている。県は今後、こうした取り組みを県内各地に拡大していく方針だ。（飯田ちはる）

収穫期終盤イチゴ活用

宇都宮市と、宇都宮市のNPO法人「ひとつの花」、フタバ食品（宇都宮市）、農業生産法人「J.A.アグリ」の共同で、イチゴをテーマにした「宇都宮市と、福祉施設」の取り組みが、食品加工にイチゴが活用される。宇都宮市と、宇都宮市のNPO法人「ひとつの花」、フタバ食品（宇都宮市）、農業生産法人「J.A.アグリ」の共同で、イチゴをテーマにした「宇都宮市と、福祉施設」の取り組みが、食品加工にイチゴが活用される。宇都宮市と、宇都宮市のNPO法人「ひとつの花」、フタバ食品（宇都宮市）、農業生産法人「J.A.アグリ」の共同で、イチゴをテーマにした「宇都宮市と、福祉施設」の取り組みが、食品加工にイチゴが活用される。



↑収穫したイチゴは、コープの「栃木県産とちおとめのフロマージュ氷」に加工されました。



日本栄養給食協会グループとは...

(株)日本栄養給食協会
病院等の給食受託



サンシーサービス(株)
業務用食材卸



(株)ターク
幼稚園等の給食提供、
各種弁当製造



(有)アトム
餃子、総菜の製造販売



(株)育くんファーム
農産物の生産



経営理念:「食」を通じて健康に寄与し、文化を創造する

第18回とちぎアビリンピック 速水さん金賞受賞!



↑表彰式に参加する速水さん(写真右)

アビリンピックとは、障がいのある方々が日頃職場等で培った技能を競う大会です。7/6(土)に栃木職業技能開発促進センター(宇都宮市若草)にて、ひとつの花利用者の速水さんがパソコンデータ入力部門で出場しました。見事金賞を受賞し、11月に愛知県で開催される全国大会に、栃木県代表として出場します!



↑大会に出場する速水さん



作業の様子

A型・B型それぞれの作業所ではネギの出荷調整・野菜の皮むき物品の品揃えを行っています。

A型利用者



B型利用者



B型利用者



利用者さんの得意分野を活かした作業として、天井電気部分を覆うカバーを作成し取り付けました。

B型利用者



利用者さん(屋敷謙行さん)のイラストです。

弊社協賛

第10回キッズチャレンジサッカースクール ～保護者様向け栄養学講習～

弊社の管理栄養士による講習を実施し、この様子がとちぎテレビ「T.S.☆LAB!!」で紹介されました。



日本栄養給食協会グループ

ひとつの花 

宇都宮市下岡本町4063 月曜日～金曜日 8:00～17:00

TEL/FAX: 028-680-7400(携帯:080-9092-0843)

E-mail: hitotsunohana@blue.ocn.ne.jp

ご見学を希望される方は、事前にご連絡ください。
担当: サービス管理責任者 菅野谷(すがのや)

..... アクセス

